

バイク王 バイクライフ研究所 『リセール・プライス』ランキングを発表 『ホンダ・スーパーカブ 110』が首位獲得！

対象期間 2017年12月～2018年2月

バイクライフの楽しさやバイク市場の動向を広く社会に発信することを目的に活動を行う『バイク王 バイクライフ研究所』（所在地：東京都港区、所長：澤篤史）は、2017年12月～2018年2月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』＝『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。24回目となる今回は「ホンダ・スーパーカブ 110」が首位を獲得しました。

◇注目のニューモデル
『ホンダ・スーパーカブ 110』
が1位を獲得！

◇2017年ニューモデルが多くランクイン

◇大型二輪が半数を占める結果に



◇佐川健太郎氏 インプレッションムービー公開中

『リセール・プライス』ランキングにて、総合トップテンにランクインしたモデルを始め、複数の人気車種をモーターサイクルジャーナリストの佐川健太郎氏にインプレッションしていただきました。詳しくはURL（<https://www.8190.jp/bikelifelab/extra/shijou/>）をご覧ください。

※本リリースの調査結果を転載される際は、必ず「バイク王 バイクライフ研究所調べ」とご明記ください

※本調査結果は、下記のサイトでも公開されております。

・バイク王 バイクライフ研究所ホームページ(<http://www.8190.co.jp/lab/>)

※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください。

プレスリリースに関するお問い合わせ先

■株式会社バイク王&カンパニー

バイク王 バイクライフ研究所

担当：今井、萩原

TEL 03-6803-8866

E-mail bikelife_lab@8190.co.jp

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 13F

■株式会社スクランブル

プランニング局

担当：大橋

TEL 03-6894-6895 / FAX 03-5413-3050

E-mail bike-o@scramble.jp

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

■ 総合ランキング

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・スーパーカブ 110	80.6Pt
2	カワサキ・Ninja650	79.2Pt
3	ホンダ・X-ADV	75.5Pt
4	ヤマハ・TMAX530 DX ABS	74.2Pt
5	ヤマハ・トリシティ 155 ABS	71.6Pt
6	カワサキ・Ninja1000	71.5Pt
7	ホンダ・CB1100RS	70.7Pt
7	ホンダ・CBR250RR	70.7Pt
7	ヤマハ・ジョグ ZR	70.7Pt
10	ホンダ・CRF250L	70.3Pt

◇対象期間 2017年12月～2018年2月

24回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『ホンダ・スーパーカブ 110』が2位に1.4pt差を付け首位に輝きました。

ホンダ・スーパーカブ 110は1958年にシリーズの初代モデルが発売され、2018年で60周年を迎えるロングセラーモデルです。今回ランクインしたのは2017年11月より発売されたモデルで、先の震災より完全に復興した日本の熊本工場へと生産拠点が移されるとともに、各部が曲線基調のデザインに変更され、スーパーカブの伝統的なデザインへと変更されました。また、装備面に注目すると、LED式のヘッドライトやメーター、カートリッジタイプのオイルフィルターを新たに採用する等、利便性や整備性も向上しています。今回初のランクインとなりましたが、販売開始から4カ月ほどしか経過しておらず、市場流通台数の少なさや、国内生産による信頼性の高さに起因する高値傾向であると考えられます。

今回のランキングではトップテンのうち8車種が2017年に発売されたモデルとなりました。昨年は250ccクラスのフルカウルスポーツやアドベンチャーの台頭、多数の従来モデルの生産終了など、バイク業界に大きな動きがあり、メーカーのラインナップも大きく変わりました。今回のランキングも、上記のような変化を反映した結果となりました。

東京・大阪モーターサイクルショーが開催され、各メーカーよりさらなる新型モデルが発表されるなか、今後のランキングに変化は起こるのか、引き続き『リセール・プライス』ランキングにご注目ください。

■ 排気量別ランキング上位5位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・スーパーカブ 110	80.6Pt
2	ヤマハ・ジョグ ZR	70.7Pt
3	ホンダ・PCX	69.9Pt
4	ヤマハ・CYGNUS-X SR	68.2Pt
5	ホンダ・ジョルノ	66.1Pt

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ヤマハ・トリシティ 155 ABS	71.6Pt
2	ホンダ・CBR250RR	70.7Pt
3	ホンダ・CRF250L	70.3Pt
4	ヤマハ・NMAX	69.5Pt
5	ヤマハ・YZF-R25	69.1Pt

・ 中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・CB400 SUPERFOUR ABS	68.3Pt
2	ホンダ・CB400 SUPERFOUR	68.0Pt
3	ヤマハ・YZF-R3 ABS	64.4Pt
4	ホンダ・CB400 SUPERBOLD'OR ABS	63.8Pt
5	カワサキ・Ninja400	62.6Pt

・ 大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・Ninja650	79.2Pt
2	ホンダ・X-ADV	75.5Pt
3	ヤマハ・TMAX530 DX ABS	72.4Pt
4	カワサキ・Ninja1000	71.5Pt
5	ホンダ・CB1100RS	70.7Pt

■ 『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときの価格(=プライス)を指します。

2018年4月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、年間 10.3 万台(2016年11月期)の取り扱い台数を誇る『バイク王』のデータを基に、バイク王 バイクライフ研究所が独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

■ 算定基準

- ・ 国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2018年4月現在・逆輸入車を除く)
- ・ 新車販売価格は2018年4月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定
- ・ 期間内に、バイク王 バイクライフ研究所独自の規定台数に達する流通があるバイクを対象とする。

【バイク王 バイクライフ研究所について】

バイク王 バイクライフ研究所は、『バイクライフの生涯パートナー』をブランドビジョンに掲げる株式会社バイク王&カンパニーが、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織です。

昨今、バイク業界は新車の販売不振や趣味嗜好性の多様化による若年層のバイク離れなど、明るいニュースに乏しい状況が続いています。

バイク王 バイクライフ研究所は、中立的な立場を意識し、専門家やユーザーの方からの意見・データを収集・集積するとともにインタラクティブな情報交換を行い、その結果をユーザーやマスメディアに向け、積極的に発信することで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

バイク王 バイクライフ研究所



バイク王 バイクライフ研究所
所長 澤篤史